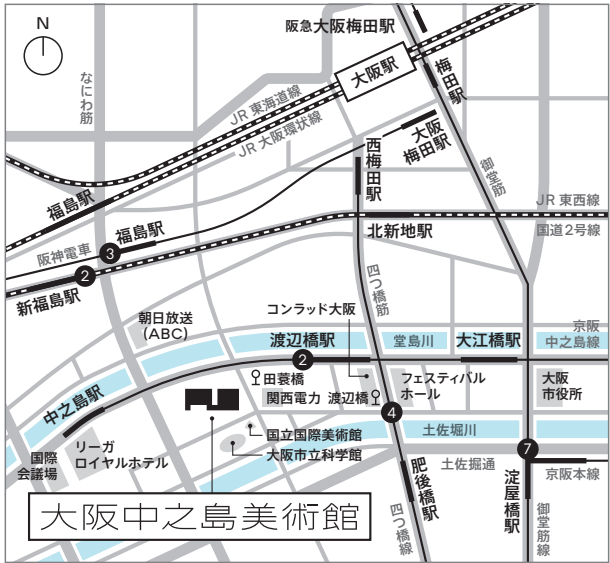


INFORMATION ご利用案内

展示室 — 10:00-17:00 \*入場は開場30分前まで。展覧会により異なる場合あり  
休館日 — 月曜日 \*祝日の場合は翌平日  
\*店舗営業日・時間は中面をご覧ください  
観覧料 — 展覧会ごとに異なります  
チケット — 当館チケットサイトなどでご購入いただけます  
\*詳しくは当館ホームページをご確認ください

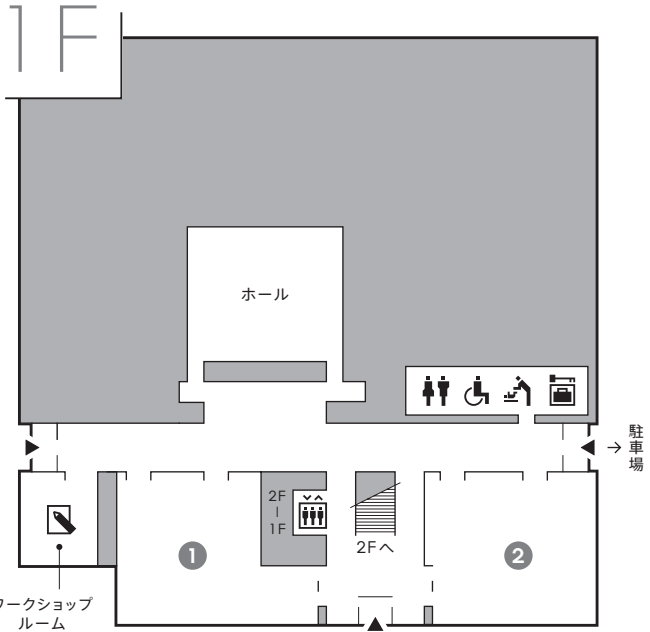
\*臨時休館、営業時間変更の場合がございますので、当館ホームページにてご確認ください

ACCESS アクセス



- 電車
  - 京阪中之島線渡辺橋駅(2番出口)より徒歩約5分
  - Osaka Metro 四つ橋線 肥後橋駅(4番出口)より徒歩約10分
  - JR大阪環状線福島駅/東西線 新福島駅(2番出口)より徒歩約10分
  - 阪神福島駅より徒歩約10分
- バス
  - 大阪シティバス JR大阪駅前より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分
- 車 | 自転車
  - 駐車場72台(有料・時間貸)
  - 駐輪場130台(うち原付7台)

大阪中之島美術館  
530-0005 大阪市北区中之島4-3-1  
TEL: 06-6479-0550 WEB: https://nakka-art.jp  
X f @ @nakkaart2022



1 インテリア | HAY OSAKA



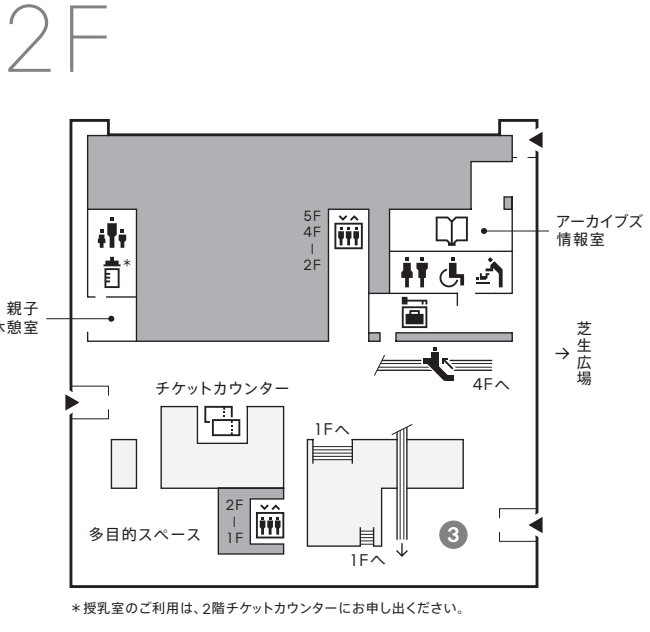
デンマーク発インテリアブランド。ライフスタイル全体をコーディネートできるアイテムが揃います。  
[営業時間] 11:00-18:00 \*不定休  
[TEL] 06-6467-8682

2 カフェレストラン | Musée KARATO

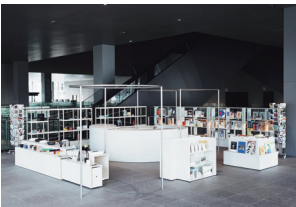


“ミュゼカラト”では、ゆったり128席のくつろぎ空間で、彩り豊かなメニューをご用意しております。オールタイムのお食事はもちろん、デザートセット、アフタヌーンティーセット、アルコールもお楽しみいただけます。  
[営業時間] 11:00-21:00 終日営業  
ラストエントリー 19:30 \*不定休  
ラストオーダー 20:30 \*席数128席(内テラス席20席)

FLOOR MAP



3 ミュージアムショップ | dot to dot today



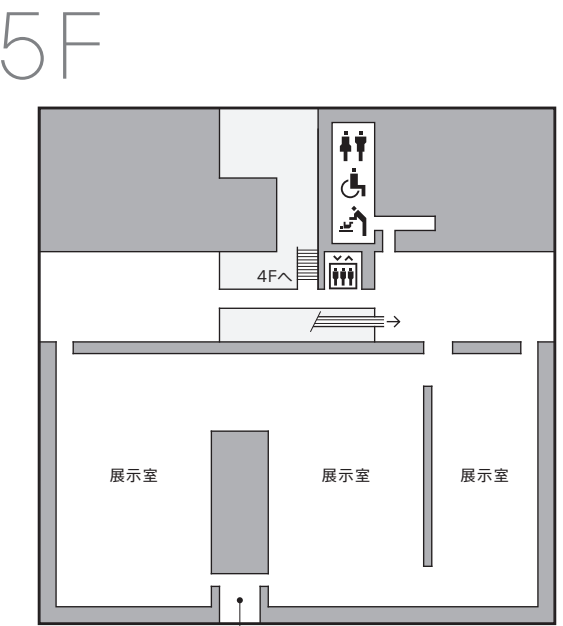
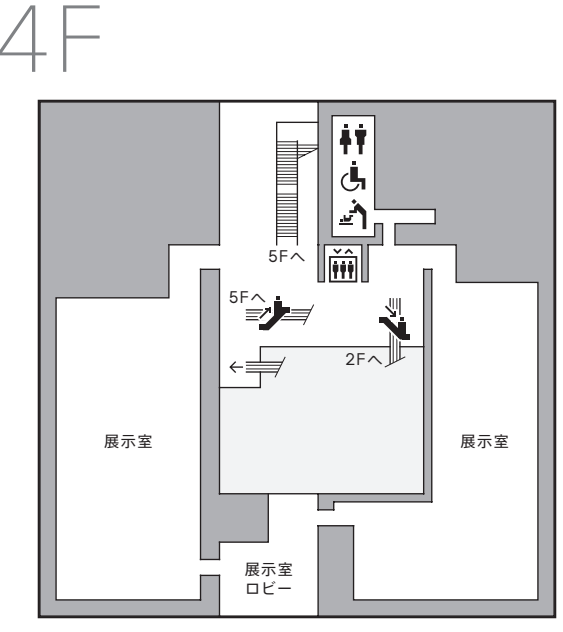
自由な視点でセレクトしたプロダクトをはじめ、大阪に縁のあるアーティストとのコラボグッズや、ここでしか出会えないユニークなオリジナルグッズをお届けします。  
[営業時間] 10:00-18:00  
\*月曜日定休(祝日の場合は翌平日、イベント開催などによっては営業)  
[TEL] 080-4701-5219

設備について

- コインロッカー 1、2階にございます。大きなお荷物はコインロッカーにお願いします。100円硬貨は使用後に返却されます。コインロッカーに入らないお荷物はチケットカウンターにてお預かりします。\*コインロッカーのご利用は当日に限ります。
- 車いす/ベビーカー チケットカウンターにてお貸出ししています。ご希望の方はチケットカウンターにてお申し出ください。なお台数には限りがあるため、お貸出しできない場合がございます。

\*多目的トイレには、オストメイトとユニバーサルシート(介護ベッド)がございます。

- トイレ 多目的トイレ\* おむつ交換室 親子トイレ 授乳室 ロッカー エレベーター エスカレーター



アーカイブズ情報室 2F



美術館が保有する情報資源を調査・研究利用するための施設です。事前の予約手続きにより、アーカイブズ情報室でどなたでも調査・研究のための閲覧ができます。  
[開室時間] 10:00-17:00  
(予約閲覧室への最終入室は16:00)  
\*日曜日、月曜日、祝日、月曜祝日の翌日、年末年始、特別整理期間は休室  
飲食物の持ち込みならびに室内設置備品の持ち出しは固くお断りします。



[左]「プレスアルト 第1号」1937年発行、「プレスアルト及び関係資料(1937-1996, undated)」 [右]具体美術協会「グタイピナコセカパンフレット」1962年発行、「具体美術資料委員会田蔵資料(1937-1993, undated)」

ラーニング・プログラム



「ナッカキッズ」としてさまざまなラーニングプログラムを実施しています。子どもたちがのびのびと自由にアートを楽しめる場を提供します。活動内容は当館ホームページからご覧ください。



入館にあたってのお願い

- 敷地内は全面禁煙です。
- 館内での飲食はご遠慮ください。水分補給や、薬の服用の際は、展示室(展覧会会場)以外のパブリックスペースをご利用ください。なおお持ち込みいただける飲料は無糖のお茶とお水に限ります。
- 館内で展示している作品および作品ケースには触れないでください。
- 展示室内に限らず、館内での三脚・自撮り棒のご利用はご遠慮ください。また安全確保のためエスカレーターでの撮影はご遠慮ください。ほかのお客様、スタッフを撮影することは、肖像権の侵害に当たる可能性がありますのでご遠慮ください。
- 展示室内へは再入場できません。館内ではスタッフの誘導・指示に従ってください。
- 展示室内での携帯電話での通話は周囲のお客様のご迷惑になりますのでご遠慮ください。電源をお切りいただくか、マナーモードに設定のうえ、ご鑑賞ください。
- 室内は作品保護のため、温度を20°C-23°Cに設定しております。お手持ちの衣服にて温度調整をお願いいたします。

EXHIBITION SCHEDULE 2025.4-2026.3 展覧会 スケジュール

NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA





	5F	4F	2F
2025	2025年3月20日(木・祝)	2025年3月29日(土)	
4	大カプコン展 ―世界を魅了する ゲームクリエイション	生誕150年記念 上村松園	
5		6月1日(日)	
6	6月22日(日)	2025年6月21日(土)	
7		「日本美術の鉱脈」展 未来の国宝を探せ！	
8	2025年7月15日(火)	8月31日(日)	
	ルイ・ヴィトン 「ビジョナリー・ ジャーニー」展		
9	9月17日(水)	2025年9月13日(土)	
10	2025年10月4日(土)	小出檣重 新しき油絵	Osaka Directory Supported by RICHARD MILLE
11	新時代の ヴィーナス！ アール・デコ 100年展	11月24日(月・休)	10 金光男 11.15-12.14
12	2026年1月4日(日)	2025年12月13日(土)	11 天牛美矢子 12.20-1.18
2026	2026年1月31日(土)	拡大する シュルレアリスム 視覚芸術から広告、 ファッション、 インテリアへ	12 和田真由子 1.24-2.23
1		2026年3月8日(日)	
2	サラ・モリス		
3	4月5日(日)		

# SCHEDULE

## 大カプコン展 ―世界を魅了するゲームクリエイション

2025年3月20日(木・祝)ー  
6月22日(日)  
会場 | 5階展示室

1983年の創業から世界的ゲームソフトメーカーに成長した現在まで、その本社を大阪に置くカプコンは、数多くのゲームタイトルを開発し、世界の人々を魅了してきました。本展ではゲーム誕生の壮大なプロセスをご紹介します、日本が誇るゲーム文化をあらためて捉える機会を創出します。

上:キービジュアル  
下:キャラクターパレード  
©CAPCOM ※画像はイメージです。



## 生誕150年記念 上村松園

2025年3月29日(土)ー  
6月1日(日)  
会場 | 4階展示室

京都に生まれた上村松園(1875-1949)は、美人画の第一人者として知られます。日本女性の凛とした強さや愛らしさ、伝統芸能に親しむ姿、暮らしの懐かしい情景など、その絵筆がとらえた女性美のうちに、松園がめざした豊かな表現世界をお楽しみいただけます。

上:上村松園《わか葉》1940年 名都美術館〔前期展示〕  
下:上村松園《序の舞》(重要文化財)1936年 東京藝術大学〔後期展示〕



## 「日本美術の鉱脈」展 未来の国宝を探せ！

2025年6月21日(土)ー8月31日(日) 会場 | 4階展示室

日本美術には、まだ世に知られていない作者、作品が埋もれています。本展では、あらためてその鉱脈を掘り起こし、美しい宝石として今後の日本美術史に定着していくことを目標にし、縄文から近現代の作品を展示します。展示室ではご自身の眼で「未来の国宝」をぜひ探してください。

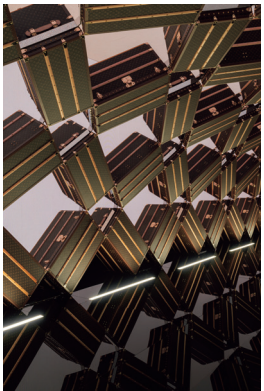
上:牧島如鳩《魚籃観音像》  
昭和27年(1952) 足利市民文化財団  
下:伝岩佐又兵衛《妖怪退治図屏風》(部分)  
江戸時代(17世紀)



## ルイ・ヴィトン 「ビジョナリー・ジャーニー」展

2025年7月15日(火)ー9月17日(水)  
会場 | 5階展示室

ルイ・ヴィトン創業170周年と2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)を記念して開催される「ビジョナリー・ジャーニー」展。メソンの先駆的な精神と比類のない旅の真髄(こころ)を物語り、卓越した匠の技、創造性、そしてイノベーションにインスパイアされた没入型の旅へと誘います。美術史家兼キュレーターのフロランス・ミュラーの協力のもと制作され、OMAの重松象平がデザインを担当。メソンの原点から最新クリエーションまでの軌跡を鮮やかに描き、日本との長きにわたる貴重な関係にオマージュを捧げます。



©LOUIS VUITTON

## 小出檣重 新しき油絵

2025年9月13日(土)ー  
11月24日(月・休)  
会場 | 4階展示室

大阪市出身で、近代日本を代表する洋画家の一人、小出檣重(1887-1931)。本展では、初期から晩年までの画業を各時代の代表作とともにたどり、檣重の油絵画の魅力に迫ります。また、素描、ガラス絵、装幀、挿絵、随筆などに発揮された多彩な才能をご紹介します。

上:小出檣重《卓上静物(西瓜のある静物)》  
1928年 大阪中之島美術館  
下:小出檣重《横たわる裸身》1930年  
石橋財団アーティゾン美術館



## 新時代のヴィーナス！ アール・デコ100年展

2025年10月4日(土)ー  
2026年1月4日(日)  
会場 | 5階展示室

1925年パリで開催された現代産業装飾芸術国際博覧会から、2025年で100周年を迎えます。本展はとりわけ女性と関わりの深いデザイン作品に焦点を当て、100年前の「理想的な女性」像を振り返り、そのデザイン諸相を再発見、ご堪能いただく機会となります。

上:《BMW 315/1 ロードスター》1935年  
堺市ヒストリックカー・コレクション  
下:ユップ・ウィールツ  
《ヴォーグ 今年の冬の香水はこれだ》1925年  
サントローポスターコレクション  
(大阪中之島美術館寄託)



## 拡大するシュルレアリスム

視覚芸術から広告、  
ファッション、インテリアへ

2025年12月13日(土)ー  
2026年3月8日(日) 会場 | 4階展示室

1924年にアンドレ・ブルトンが定義づけた動向であるシュルレアリスムは、無意識や夢に着目したフロイトの精神分析学に影響を受けて発生しました。視覚芸術、ひいては社会全体へと拡大したシュルレアリスムを表現の媒体をキーワードとして解体し、シュルレアリスム像の再構築をめざします。

上:ルネ・マグリット《レディ・メイドの花束》1957年  
大阪中之島美術館  
下:エルザ・スカパレツリ《ズット》1949年  
高砂香料工業株式会社

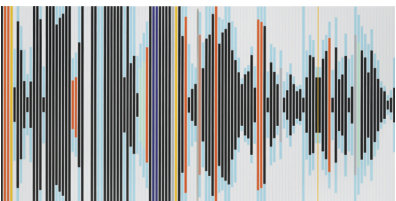


## サラ・モリス

2026年1月31日(土)ー4月5日(日) 会場 | 5階展示室

ニューヨークを拠点に活動するアーティスト、サラ・モリスの日本初の美術館での回顧展です。彼女は、ダイナミックで流動し続ける都市における社会や政治の構造を探索し、作品で表現しています。本展では代表作である都市名を冠した幾何学的な絵画や初期作品、映像作品、新作の巨大壁画など30年以上にわたる活動を紹介します。

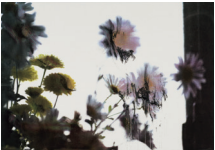
上:サラ・モリス《サクラ》  
2018年 HD Digital  
50分6秒 大阪中之島美術館  
© Sarah Morris  
下:サラ・モリス  
《社会は抽象的であり、  
文化は具体的である  
[サウンドグラフ]》  
2018年 家庭用アクリル塗料  
カンヴァス 214 x 428 cm  
大阪中之島美術館  
© Sarah Morris



## directory

Supported by  
RICHARD MILLE

大阪中之島美術館が関西・大阪21世紀協会と主催する、関西ゆかりの若手アーティストを個展形式で紹介するシリーズの展覧会です。



10 金光男  
2025年11月15日(土)ー12月14日(日)  
金光男(SUN#13)2023年



11 天牛美矢子  
2025年12月20日(土)ー2026年1月18日(日)  
天牛美矢子《あの子らはええね》2023年 写真:今村裕司



12 和田真由子  
2026年1月24日(土)ー2月23日(月・祝)  
和田真由子《ヨット》2013年 撮影:児玉直郎

## COLLECTION コレクション

19世紀後半から今日に至る日本と海外の代表的な美術とデザインの作品を核としながら、地元大阪で繰り広げられた豊かな芸術活動にも目を向け、約5000点にも及ぶ寄贈作品と購入作品をあわせ、6000点を大きく超えるコレクション(寄託品を除く)を築いてきました。今後もさらなる充実をめざしていきます。



1. 佐伯祐三《郵便配達夫》1928年 2. 島成園《祭りのよそおい》1913年  
3. アメデオ・モディリアーニ《髪をほどいた横たわる裸婦》1917年  
4. 早川良雄《第11回秋の秀彩会》1953年  
5. コロマン・モーザー《アームチェア》デザイン1903年／製作1903-04年頃